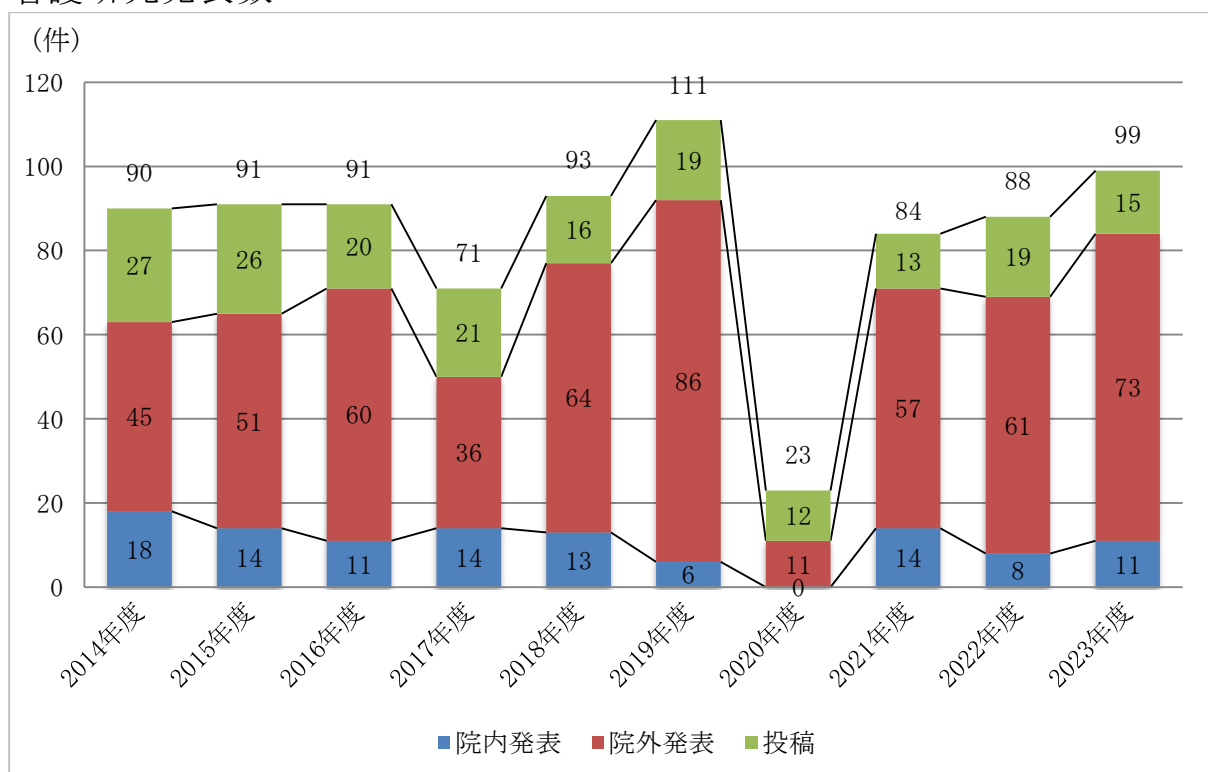


看護研究発表数



看護部の研究への取り組みとして、2014年度に看護部ラダー教育として「看護研究への取り組み」を2コースに分け、藤田医科大学保健衛生学部看護学科の教員との協働のもと、段階的に教育・支援を開始した。2016年度には文献クリティークを教育に取り入れ、エビデンスに基づいた看護実践の推進に向けた人材育成を図った。2018年度からは研究支援担当者会を設置し、一人ひとりに対する研究支援を拡充した結果、院外発表数が飛躍的に増加した。2020年度には岡崎医療センターの開院準備や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学術集会の開催中止によって研究発表数が一時的に減少を認めた。

2021年度に藤田医科大学に社会実装看護創成研究センターが新設され、看護部とセンター間で毎月開催する臨床研究に関する合同会議を通して有機的な連携を強化し、系統的な研究指導・支援体制を確立した。その成果として、2022年度以降は年間60件を超える院外発表を標準的に達成している。今後、看護部と大学との連携を一層に密にし、さらなる看護の質向上に向けて取り組んでいく。

データ提供 看護部